

ベガルタ仙台 GK 24

小畑裕馬

夢は大きな原動力に――



©VEGALTA SENDAI

今季からベガルタ仙台トップチームに昇格した小畑裕馬選手。7月4日、ゴールキーパー(以下、GK)としては史上3番目の年少記録でプロデビューし、無失点勝利の立役者には18歳高卒ルーキーのGKが初出場が無失点勝利を飾るのはJ1史上初めてのことで。そんな小畑選手、実は登米市に縁があるということで、インタビューが実現。登米市の子どもたちに向けて、メッセージなどをもらいました。

―登米市との関わり

生まれたところが登米市です。親が転勤の多い仕事のため、生まれてすぐ登米市を離れてしまいましたが、祖母が登米市に住んでいるので登米市には結構行きますよ。

―サッカーを始めたきっかけ

幼稚園でサッカー教室があったのですが、それがすごく楽しくて、サッカーへの興味が芽生えました。父にもクラブチームを勧められ、その時住んでいた群馬のクラブチームでサッカーを始めました。小学3年で仙台へ。アバンツァーレ仙台SCでサッカーを続けていました。

―プロの選手を目指して

今はGKをやっています。小学生時代はフィールドプレイヤーをしていました。小学6年の時、ベガルタ仙台

ジュニアチームとの試合で、たまたまGKを任せられたのですが、その試合を見ていたベガルタ仙台の関係者に活躍を評価してもらいました。

中学に進学するタイミングでベガルタ仙台ジュニアユースに所属。GKへの転向はもろもろ抵抗はありました。でも、GKとして評価されたことはうれしかったですし、なによりベガルタ仙台ジュニアユースでプレーしたい気持ちが大きかったですね。

ユースに行く機会も増え「自分もいつかここでプレーしたい」という気持ちで湧いてきました。「プロサッカー選手」というより「ベガルタ仙台の選手」になりたいと強く思うようになりました。

―スランプを乗り越える

中学1年でGKに転向。それまでは、フィールドで思うようにプレーしていましたが、GKになりイメージ通りのプレーができない日が続きました。そんな中、指を骨折。やっとなった一週間後、今度は足首の内側を負傷するなどけがが重なりました。練習はできず、試合からも外され、サッカーをやり続ける意味はあるのか考える日々。そこで出てきた答えは「ベガルタ仙

台の選手になりたい」という夢でした。目標や夢を意識することで、乗り越えられる壁はあると思います。

また、プレーに波があつてはだめだと思えますが、なぜかうまくいかないときがあります。そこを抜け出すには、初心に戻って徹底的に考え、映像を見返し、チームメイトとコミュニケーションもとりながら調子を整えています。

―ベガルタ仙台の選手になつて

最近、試合に出始めたことで、プロサッカー選手になったんだという実感がでてきました。

正直、ベガルタ仙台の選手になれる自信はありませんでした。なりたいた言つてなれるものではなく、プレーを評価してもらわなければなりません。ユースでの活躍をみてもらった上でトップチームへの昇格の有無を言い渡されるのですが、昇格が決まったときは、本当にうれしかったです。

トップチームの選手になり、まず選手の体の大きさに驚きました。パワーはもろもろ技術やスピードも全然違いました。練習時間は1日2時間程度と決まっています。楽しんでやっています。練習量は

ユース時代とあまり変わりませんが、質が違うのか体にかかる負荷は大きいような気がします。

―記念すべきデビュー戦

試合が始まるまでは、とても緊張していましたが、始まってみれば、普段やっていたことをその通りやれば結果はついてくると切り替え、冷静にデビュー戦に挑めました。その後も何度か試合に出場していますが、正直、毎回デビュー戦と同じくらい緊張しています。

―今後の目標

まずは、試合で経験を積み、安定したGKになってチームに貢献することです。いずれは日本代表になって世界を相手に戦いたいです。

自分にとってサッカーは人生そのもの。コーチ、チームメイト、スタッフと一緒にプレーした仲間、そして家族など今までのサッカー人生に携わってくれた全ての人に感謝しています。これからも試合に出続けて、もともともと活躍することで恩返ししていきたいですね。

―子どもたちへのメッセージ

夢や目標を持つことで、自

います。夢や目標をしっかりと持ち、逆境に負けず成長していくってください。

分の中でどんどん成長している部分があります。目指すものを決めると、かなえた時の達成感やそこから成長できる自分の強さを実感できます。

OBATA Yuma
2001年11月7日、登米市生まれ、18歳。185cm、82kg。アバンツァーレ仙台SC(榴ヶ岡小)、ベガルタ仙台ジュニアユース(東華中)、ベガルタ仙台ユース(明成高)を経て、2020年ベガルタ仙台トップチームへ昇格。キックの正確性など足元の技術に定評がある。両親、姉、妹の5人家族。座右の銘は「一心不乱」。趣味は釣り。

直筆サイン色紙プレゼント

直筆サイン色紙1枚を読者へプレゼントします。

【応募方法】はがきに「サイン色紙希望」と必要事項を記入の上、送付してください

【必要事項】①郵便番号②住所③氏名④年齢⑤電話番号⑥「広報とめ」の感想や取り上げてほしいこと

※個人情報は色紙の発送のみに使用します

【応募期限】9月15日(火)

※当日消印有効

※当選発表は、色紙の発送をもって代えさせていただきます

【応募先・問い合わせ】

まちづくり推進部まちづくり推進課(広報係)
〒987-0511/登米市迫町
佐沼字中江2-6-1
☎0220(22)2147

